ふかまちのまど

第一五七号　〇七年〇六月一日
発行元　深町町内会連合会
連絡所　☎六三－三八八二

町内会連合会活動報告

会長就任のご挨拶

町内会連合会
会長　秋本賢治

汗ばむほどの陽気に初夏の訪れを感じる今日この頃、町内の皆様にはご健勝のこととお慶び申し上げます。

この度、会長という重責を未熟者の私が引き受け、心痛の思いで一杯です。

連合会の活動を一生懸命に頑張りますので、町内の皆様のご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

連合会総会開催（四月二一日）

新執行部等役員

会長	秋本　賢治
副会長	中村　純
副会長	麓　正徳
事務局長	池田　篤士
会計	高平　美穂
会計監査	成末　叔正
会計監査	横森　保子

平成十九年度主要行事

広報紙発行	毎月
定期総会	四月
町民運動会	五月
市民ゲートボール大会	六月
市民グランドゴルフ大会	七月
やっさ祭り	八月
盆行事	八月
深町敬老会	九月
市民体育大会	十月
ターゲットバードゴルフ大会	十一月
ビーチボールバレー大会	一月
河川清掃	二月

平成１８年度深町町内会連合会収支決算報告書

収入の部		支出の部	
科目	金額（円）	科目	金額（円）
前年度繰越金	419，549	活動費（体育部）	393，515
一般会費	861，600	体育指導員年会費	10，000
盆行事特別会費	215，400	行事費	776，635
市助成金	569，200	助成金	200，000
特別収入（敬老会祝い金）	10，000	諸費	80，000
雑収入	14，500	負担金	34，600
利息	285	事務費	4，970
		会議費	38，520
		繰越金	552，294
合計	2，090，534	合計	2，090，534

平成１９年度深町町内会連合会予算書

収入の部		支出の部	
科目	金額（円）	科目	金額（円）
前年度繰越金	552，294	活動費（体育部）	435，000
一般会費	861，600	体育指導員年会費	10，000
盆行事特別会費	215，400	行事費	860，000
市助成金	600，000	助成金	200，000
諸収入	0	諸費	80，000
利息	0	負担金	35，900
		事務費	30，000
		会議費	30，000
		予備費	548，394
合計	2，229，294	合計	2，229，294

歩く会にご参加を

健康づくり推進員
高崎修

行先　龍王山と御調八幡宮
月日　六月十日（日）
行程
上組公民館八時発（車）〜
ダム八時三〇分〜
辻堂九時三〇分〜
龍王山十一時三〇分（昼食）〜
御調八幡宮十三時
神社入り口バス停十三時五六分
（バス）〜三原駅十四時十九分
持参物　弁当、お茶、バス賃、雨具

三原市最高峰の眺めとどうだんつつじ群落を楽しみましょう。
※雨天の場合は中止。▲▲

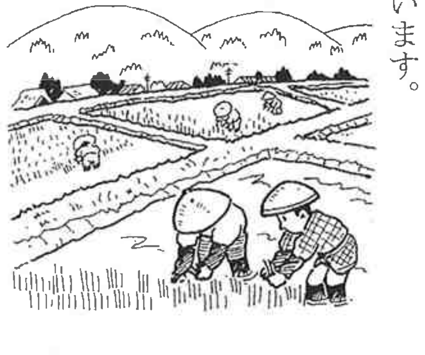
「ふかまちのまど」　ホームページのアドレスは
http：//www.jcat.ne.jp/~fuka/top.html

深小だより

「田植え」

深小学校校長　山本惠司

今年も藤川八重子さん宅所有の田をお借りして、五月二十二日（火）に田植えをしました。深小学校では体験学習の一環として、毎年二年生と五年生が行っています。



初めて体験する二年生はとても興味津々で、ぬかるみに足をとられながらも一生懸命でした。中にはバランスを崩して尻もちをついて服を汚した児童もいましたが、みんな大喜びでした。

こうした貴重な体験を通して児童たちは勤労観を培ったり、お年寄りからは米作りを通しての知恵や技を教えてもらうのだと思います。

お手伝いいただきました方々には心から感謝申し上げます。▲▲

町民会館運営委員会報告

運営委員会開催

町民会館館長　中村　純

平成十九年度の町民会館運営委員会を五月十三日に開催しました。主な議事内容は次のとおりです。

一、平成十八年度町民会館の利用状況報告と決算の承認
二、平成十九年度の予算決定
三、役員改選

◇新役員

館長	中村　純
副館長	麓　正徳
〃	秋本　賢治
管理人（会計兼務）	藤川　敏和
会計監査	村上　百合子
〃	秋永　俊正

※会館の使用は、管理人（藤川敏和電話６３－４８３４）へ申し込んでください。▲▲

二中だより

学び合いの楽しさ

第二中学校校長　片山　幹夫

地域の学校として、いつもあたたかく見守っていただき感謝しております。

十九年度、二中は新一年生一一八名を迎え、生徒数三五〇名、朝は多くの生徒が朝練習に参加し、元気なかけ声とさわやかなあいさつで一日が始まっています。

今年、あらためて意識していることは「やり方」や、生徒に「求めること」を全学級・全学年で統一して、歩調をそろえてすすめるということです。

例えば、授業の始終のあいさつ、当番の号令で礼をするというのはどこでもしますが、意識統一をしないと、座ったままとか、起立するとか、無言でとか、「お願いします」と発声するとか、バラバラになりますが、二中では、起立、椅子を入れる、「これから〇〇の授業を始めます」「ハイ（全員で）」、「お願いします」「お願いします（全員で）」礼、着席、と統一しています。ささいなことのようですが、毎時間授業者の変わる教科担任制の中学では、どの先生も同じことをいい、同じことを求めるということは、生徒の指導上、軸がブレない基本だと思っています。

授業の中身の方も、先生が一方的に説明するのではなく、集団で学習しているのだから、少しでも生徒に「学び合いの楽しさ」を実感させられるものにしていきたいと工夫しています。

深小や如水館高校にくらべて、二中は深の地から多少遠くはございますが、地域の学校として今年度もかわらず、ご理解、ご協力を賜れば幸いと思っております。よろしくお願いします。▲▲

謹んでお悔やみ申し上げます

谷岡　恒子　様　一〇一歳
（中組　仲峠講）　五月八日

深町各種団体六月行事予定

◆町内会連合会
▼市民ゲートボール大会　十七日

◆小学校・幼稚園
▼交通安全教室　一日
▼新体力テスト　五日
▼集金日・諸雑費集金(幼)　七日
▼英語活動　八日
▼貯金日　十一日
▼体重測定(幼)　十二日
▼二中保育体験実習(幼)　十三日
▼広響鑑賞会　十四日
▼参観日・救急法・地区懇・給食試食会　十五日
▼プール開き・保健指導(幼)　十八日
▼サンライズ訪問（高）
耳鼻科検診　十九日
▼ぴよぴよハウス　二一日
▼英語活動・防犯教室　二二日
▼水泳教室　二六日
▼サンライズ訪問（低）　二七日
▼お楽しみ会(幼)　二八日
▼テーマタイム　二九日

◆如水館中学・高校
▼振興会総会　七日
▼水明祭　二二〜二三日

展望席

六月、梅雨入りを迎え、これから二ヶ月近く雨とともに暮らす季節となりました。梅雨時の多量の雨は、先ず山林や水田が大きな受け皿となり、余った雨は河川を通って大海へと流れ込んで行きます。近頃は山林も水田も開発等でその面積が減少、道路は舗装され、陸地では雨水を十分に受け入れることができなくなったと思われます。

そのため、雨水は地表流となって一気に河川に流出、河川流量は急激に増大して洪水が心配されますが、海は多量の雨水もゴミも汚水も全てを黙って受け入れています。一方、空も人間が排出する色々な有害なガスで汚染されても黙って受け入れてくれます。

「どんな物質でも全て溶かしてしまう薬を発明し、輸出して一儲けを企んだが、その薬を入れる容器が無かった（薬が容器を溶かしてしまう）ので、輸出できなかった」というジョークがありますが、受け入れてくれる側のことをうっかり忘れていることはないでしょうか。

暴飲暴食も胃袋は黙って受け入れてくれる。自分の言いたいことを、聞いてくれる人がいる。下手なカラオケも聞いてくれる人がいる。もし誰も、話も歌も聞いてくれなかったら・・相手になってくれて、受け入れてくれる人は有り難いものです。

海や空は何も言わないが、このままでは海や空の汚染は次第に進みやがて限界に達するでしょう。黙って受け入れてくれるものや人に心を向けることを忘れないように、と思います。

平成十九年度町内各種団体の代表者は次の方々です

町内会連合会長	秋本　賢治
上組町内会長	中村　純
中組町内会長	麓　正徳
下組町内会長	秋本　賢治
町民会館長	中村　純
農業振興協議会長	村上　徹郎
水利組合長	石井　静夫
消防団深町分団長	為清　敏治
尚寿会長	幸谷　満夫
女性会長	村上　孝子
壮青会長	藤川　敏和
子ども会長	岡村　宣行
はなみずきの会深町支部長	林　一恵
深小学校長	山本　恵司
深小ＰＴＡ会長	小川　真徹
如水館中・高校長	東風上　清剛
サンライズ大池施設長	本井　俊一
ピッコロ施設長	吉永　正宣

※順不同・敬称略

▲▲

深小ＰＴＡだより

「放課後児童クラブ」開設

深小ＰＴＡ会長　小川真徹

昨年にひきつづきまして、ＰＴＡ会長を引き受けさせていただきます、小川です。

昨年は、皆様の協力のもと、無事に行事を終わることが出来、大変有難うございました。今年も、どうぞよろしくお願いいたします。

今年、念願でありました放課後児童クラブが、開設し、喜んでおります。概要は、低学年（一年～三年）が対象で、月曜から土曜日、十八時までで、保護者負担金は、四〇〇〇円となっておりますので、入ろうかと思われる方は、小川までご連絡くださいませ。

また、今年以降、文部科学省が推進します放課後子ども教室を、教育委員会が、各学校において、開設しましょうという運動があります。こちらは、全学年が対象になります。しかし、開設にあたり、子供たちのお世話をしていただく安全管理員と学習アドバイザーの人材を各学校にて探さなければなりません。その他、場所の問題等、いくつかのハードルが待ち受けております。保護者の皆様、地域の皆様と協力し、一歩でも、前進できればと思っております。

なお、子供達の下校時の見守り活動も、ご協力の程よろしくお願いいたします。

最後に、保護者の皆様におかれましては、ＰＴＡ活動に積極的にご参加くださいますよう、かさねてお願い申し上げます。

▲▲

短歌・俳句・詩

中組　仲峠講　竹内ひろみつ

野に山に花咲き乱れ五月（さつき）空
　　花粉症とて妻は憂（うれ）えり

胸の音
　途切れ途切れに聞こゆ夜は
　　朝の目覚めの有れと祈りぬ

雉子（きぎす）鳴き猪（しし）は走りてこの里は
　自然有るよと風も薫（かお）りぬ

▲▲

ふれあい、イキイキサロン

「深町あおば会」発足

健康づくり推進員　原　勇吉

私は平成十八年度、三原市健康づくり推進員に中組町内会より推薦され、健康づくりの手法を学ぶ為、三原市健康づくり推進員研修に参加しました。

最終日、まとめに入り、中・高齢者の仲間づくりの場「ふれあい、サロン」を立ち上げるよう、三原市社会福祉協議会から要請がありました。

地域の人に話をしてみると、「近くで、グラウンドゴルフが出来ればやりたい」と言う意見がありました。

この為、土地の所有者の方から土地の借用、グラウンド整備費の補助を町内会にお願い（グラウンドが広いので人手では無理なのでユンボ借用）、グラウンドゴルフの備品については三原市より補助してもらい、なんとか目途がたち、十一月二二日初打ちが出来る迄漕ぎ着けました。十一月二九日一〇時より町内会の支援者を招待し「深町あおば会」の発足を祝いました。

子ども会だより

「東部大会」、ソフト・キック ともに第四位の健闘！

子ども会会長　岡村宣行

青葉が目にしみる候、町内の皆様にはいつも子ども会活動にご理解・ご支援を賜りましてありがとうございます。

今年も、深小六年生が「深町太鼓踊り」を継承すべく壮青会の皆様よりご指導を戴き、先日の町民運動会では、元気いっぱいの太鼓踊りを披露しました。

十月の千川神社の秋祭りにも、太鼓踊りを奉納する予定です。

去る四月二十九日、女子キックベースチームが、五月十三日には、男子ソフトボールチームが、それぞれ中之町小・糸崎小など三原東部地区チームによる「東部大会」で健闘し、男女とも四位となりました。

皆様のご声援に応えるべく、ソフト・キックとも夏の大会に向けて猛練習中です。今後の活躍にご期待下さい。

▲▲

一、「深町あおば会」の活動状況

グラウンドゴルフは週三回（月、水、金曜日）九時三〇分から十二時まで。但し、第四金曜日はびんご運動公園でグラウンドゴルフ大会開催、又は、手作り料理か弁当で会食会、びんごゲームやカラオケ大会を開催します。

現在の登録会員数は十八名で活動しているがグラウンドゴルフは一日平均八から一〇名です。

登録会員でなくても自由に参加できますので、やってみようかなと思われる方は参加下さい。お待ちしています。

二、グラウンドゴルフのスコアーについて

皆うまくなり、ホームグラウンドや、びんご運動公園ともホールインワンもでて、個人差はあるが八ホールで、二〇打数から三〇打数ぐらいでホールアウトしています。

三、プレー中の皆さんの表情について

ホールインワンするとガッツポーズ、又ホールアウトすると歓声を上げ、脳の活性化の為の口の運動、手の運動、歩くための足の運動で生き生きと楽しくやっています。生活にメリハリが出来たとの声もあります。

まとめとして

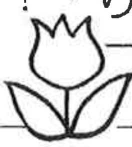
前記のように活動していますので町内会の皆さん気楽に参加下さい。

最後に「深町あおば会」立ち上げにご協力下さいました皆さん有り難うございました。

▲▲

ピッコロだより

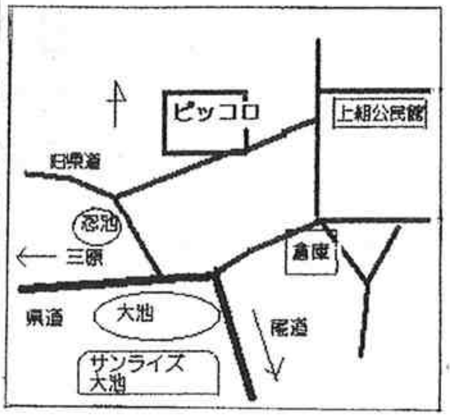
花作りで共感を！



見わたす一面、緑に囲まれた山の中のピッコロ作業所、道に迷いながらも遠方より、苗を求めて来られるお客様も最近は多く、ピッコロの存在もぼちぼち定着しつつあります。毎日同じような作業の繰り返しですが、市場への出荷をメインに精を出しています。おかげ様で野菜苗は完売、花の苗も好調です。

外部との交流会などもいろいろと計画されています。花作りを通して障害を持っている人たちと一緒にわずかな時間でも共感しあえれば、よいかと思っています。一人でも多くの訪問客をお待ちしています。

※「ピッコロ」は、知的障害者授産施設で、深町中組松尾の山裾にあります。



深町子どもを守る会

子どもを みんなで守りましょう

深小の子どもは

○午後四時十五分頃 下校します。

※日によって、異なることがあります。

○近くで、遠くで、みんなで見守りましょう。

○あいさつ、声かけをしましょう。

※サンライズ大池の職員の方が、一年前から深小児童の下校時に防犯安全パトロールのボランティア活動をされています。パトロールを通して感じたこと等を書いていただきました。（編集室）

防犯安全パトロール

サンライズ大池　菊元　将志

サンライズ大池では、去年七月から深小学校の児童が安心して生き生きと下校できるよう防犯安全パトロールのお手伝いをしています。

このパトロールの背景には、最近テレビや新聞で子供が犠牲となる悲惨な事故・事件が多発しており、私たちに何かできることはないかとの思いから生まれました。

児童と今日学校であった出来事を話したり、しりとりをしながら楽しく下校しているのですが、自分が子供の頃、友達と仲良くふざけ合いながら家に帰った頃を思い出します。

今、子供たちは「知らない人から声を掛けられたら警戒する」よう指導されています。危険から身を守ることなのですが、子供に気軽に声を掛けられないという悲しい時代でもあります。

当然ながら、私たちだけでは子供たちを危険から守ることはできず、地域の方々の協力が必要です。これを機に、パトロールに参加した人同士がお互いを知る機会にもなり、地域の「つながり」づくりに良い影響が出てくると感じています。

▲▲

※お断り　「深町六年史」は、今月は休みます。